

2026 年 6 月 11 日

各 位

会 社 名 エネルギーパワー株式会社
(コード番号 144A TOKYO PRO Market)
代 表 者 名 代表取締役社長 米澤 量登
問 合 せ 先 取締役管理本部長 鈴木 秀也
T E L 06-6267-0107
U R L <https://kenep.co.jp/>

東京証券取引所 TOKYO PRO Market 上場目的の開示

当社は、2024 年 3 月 13 日に株式会社東京証券取引所が運営するプロ向け株式市場 TOKYO PRO Market へ当社株式を上場しておりますので、TOKYO PRO Market 上場の目的及び上場目的の実現に向けた追加情報をお知らせいたします。

記

1. TOKYO PRO Market 上場の目的

当社は、金融機関及び取引先からの信用力の向上、人材の確保及び内部管理体制の強化を主な目的として、TOKYO PRO Market に上場いたしました。上場による効果を活かして経営基盤の強化と業容の拡大を図り、再生可能エネルギーの普及及びカーボンニュートラルの実現に寄与する「エネルギーソリューションカンパニー」としての更なる成長と一般市場への上場を目指しております。

2. 追加的な情報開示

(1) 中長期的な成長目標、成長戦略

当社は「電気工事業」及び「小売電気事業」の2つの事業を軸とし、再生可能エネルギーを活用した自社発電所の建設、省エネ改修工事、自家消費型太陽光発電設備や EV 充電設備設置工事の提案等を通じて成長をしてまいりました。当事業年度（第 11 期：2025 年 9 月 1 日から 2026 年 8 月 31 日）においては系統用蓄電池を活用して需給調整市場に参入し、3 本目の軸となる「系統用蓄電池事業」を開始しております。

系統用蓄電池事業を含む当社事業に係る設備投資では初期に多額の費用を必要としますが、TOKYO PRO Market 上場の効果として金融機関からの信用力が増大した結果、取引行も増加し、設備投資に必要な資金を十分に獲得できるまでに至りました。また、既存事業の成長、新規分野への事業拡大ともに従業員の雇用、法令遵守を含め事業や組

組織規模に応じた内部統制の構築やリスク情報の管理等が必要であるなど内部管理体制の強化が必要不可欠であるため、コーポレート・ガバナンス体制、内部管理体制の強化を通じて収益機会の多角化を図っております。

当社は今後とも再生可能エネルギー由来の電力を最大限に活用できるよう発電所や系統用蓄電池等への設備投資を不断に行い、「エネルギーソリューションカンパニー」として更なる再生可能エネルギーの普及及びカーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでまいります。当社は、このような活動を通じて中長期的な企業価値の向上に取り組む、その過程として一般市場への上場を目指してまいります。

(2) 一般市場への上場目標時期

当社は、一般市場への上場目標時期は未定としております。当社の業容の拡大に関し、金融機関等からの融資により十分な資金を獲得できていることから、現時点では外部資本の導入を必要としておりません。一方で、外部資本の導入により得た資金を活用することも当社業容の拡大に対して有効な手段であるため、一般市場への上場による資金の獲得は様々な選択肢の内の一つであると考えております。このため、融資による資金調達と新株発行等による資金調達のそれぞれのメリット・デメリットを比較衡量した上で、当社業容の拡大に向けて適切なタイミングにおいて一般市場への上場を目指すこととしております。

(3) 上場予定市場

上場予定市場については未定であります。今後の事業計画の進捗及び経営環境の変化等を踏まえ、一般市場への上場準備の進展に応じて決定してまいります。

(4) 上場準備スケジュール

当社は、TOKYO PRO Market 上場後、一般市場上場に必要となるコーポレート・ガバナンス体制を強化するため、2025 年 7 月 31 日開催の臨時株主総会において社外取締役 2 名、社外監査役 2 名を選任しております。当社は、今後も一般市場上場に向けて内部管理体制及びコーポレート・ガバナンス体制の強化を継続的に行う予定であります。上記(2)一般市場への上場目標時期に記載のとおり、一般市場への上場は当社の業容拡大及び企業価値の向上に対し最善なタイミングとなるように適切に判断いたしますので、現時点において具体的な上場準備スケジュールは策定しておりません。

以上